

“人権”を総合的に学べる国内有数の講座

部落解放・人権



大学講座

2013
年度

学習者こそが主人公

被差別当事者との出会い

充実の講師陣・サポート体制



出会い

発見

感動

開講39年。392団体、4,868人の受講実績



受講料

241,500円 (消費税含む)

※2013年度は2期開講です。
※実施日数は各期26日間、定員は各期約45人です。

第105期

2013年

5月28日 火

2013年

12月3日 火

第106期

2013年

9月5日 木

2014年

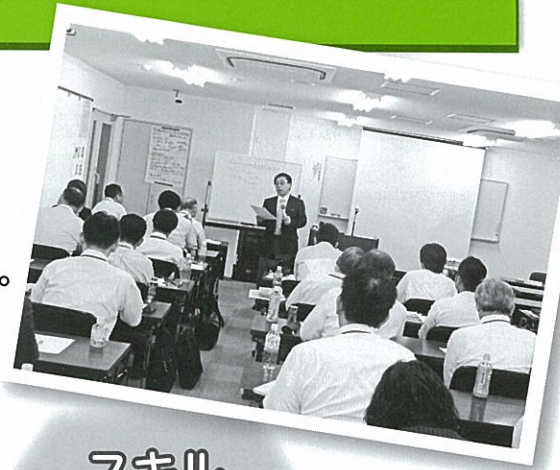
3月6日 木

●主催：社団法人 部落解放・人権研究所

●協力：部落解放・人権大学講座運営委員会

● 「部落解放・人権大学講座」とは

日本特有の差別事象である部落問題を軸に、様々な人権課題や人権啓発の方法論などを学ぶ講座です。講義形式だけでなく、「差別とは何か」を少人数で語り合うプログラムや、ワークショップ(参加型学習)、フィールドワークなど、多彩な学習方法を取り入れています。企業、行政、宗教団体、市民団体など、受講生間の異業種交流が視野を広げ、学びをさらに深めます。



知識

個別の差別や人権についての具体的現状や課題、法制度などの学びに留まらず、他の問題状況にも転用・適用可能な「普遍的なものの方・概念」としての知を育てます。

態度

多彩な受講生一人ひとりの価値観やアイデンティティを尊重した学びの場で、個々人が力を発揮できる公正な環境づくりを推進する姿勢を育てます。

スキル

人権・差別についての話し合いや、レポート作成を通して、発信力を養います。また、プログラムに盛り込んだ多様な学習手法が、研修担当者として企画力を養います。

人権の知識・態度・スキルを育み、課題に対応する行動力を培います。



● 修了生の声

学んだキーワードと今も続く交流

今思えば、解大の半年間はあっという間に終わってしまったという感じがします。しかし、その経験は、忘れることができません。部落問題を中心に人権の視点で自分を見つめ直す自己啓発学習など他では経験できないものです。また、異業種の受講生たちとの交流は、利害関係なしに年齢を超えて率直な話し合いで仲間意識が深まり、その交流は現在も続いています。今後も、解大で学んだ「人権文化」「多様性」などのキーワードと「交流」を大切にしていきたいと思えます。



第100期
辻 延清さん
大阪市

気づくことの大切さを実感

解放大学の講座は、多様な学習スタイルとカリキュラムが組まれているので、最初は戸惑いました。しかし、受講を重ねるに従って、知識だけでなく、自分と向き合い、多くの気づきを得ることができました。気づくことでも社会環境も変えられることを知り、気づくことの大切さを実感しました。また、102期の皆さんとの出会いもあり、充実した楽しい半年間でした。講座は修了しましたが、今後も知識と感性を磨き人間力を高め、人権について学び続けたいと思えます。



第102期
佐々木 由美さん
大東市

たくさんの“気づき”に溢れた時間

解大で人権諸課題について体系的に学べたことは、私にとって非常に貴重な時間でした。でも、辛い時もありました。それは自分自身の内面と真正面から対峙したからだと思います。言葉にならないモヤモヤした気持ち、それをトコトン考え抜く事ができたのは、本音で語れる解大の仲間がいたからだと思います。解大を通じて得た“気づき”を一つでも多く行動に変え、周囲をInspireできる人になることが解大を修了した私の今の目標です。



第101期
森 大介さん
住友電気工業(株)

今後のキャリア形成に役立つ内容

今後のキャリアにどのように活用できるのかしら?という思いでスタートしましたが、修了した今は感謝の気持ちでいっぱいです。講師と助言者の方々の魂がこもった講義から、様々な人権課題を知らされました。また仲間とのディスカッションでは多様な考えを学び、自分の無知と内在する差別心に向き合うことが出来ました。人として強く、優しく、正直でありたいと思えます。



第103期
岩田 和子さん
小林製菓(株)

● 私たちも推薦します



竹山 修身
堺市長



佐藤 茂雄
大阪商工会議所会頭



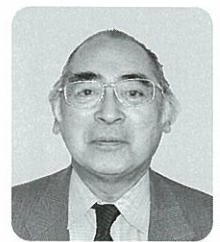
組坂 繁之
部落解放同盟中央本部
執行委員長



横田 洋三
(財)人権教育啓発
推進センター理事長



中澤 勇夫
公益社団法人
全国人権教育研究協議会
代表理事



武者小路 公秀
一般財団法人
アジア・太平洋人権情報
センター会長

(2013年2月現在)

● 講師

朝治 武 公益財団法人 大阪人権博物館事務局長
 芦田 武雄 第26期部落解放・人権大学講座修了生
 李 美葉 NPO法人 多民族共生人権教育センター理事長
 岩槻 知也 京都女子大学教授
 上杉 孝實 京都大学名誉教授
 大北規句雄 福祉運動みどりの風事務局長
 大西 英雄 おとなの学び研究会
 奥田 均 近畿大学人権問題研究所教授
 川喜田好恵 大阪府男女共同参画・青少年センターカウンセラー
 姜 博久 障害者自立生活センター・スクラム
 北口 末広 部落解放同盟大阪府連合会執行委員長、近畿大学教授
 北野真由美 NPO法人 えんばわめんと堺
 組坂 繁之 部落解放同盟中央本部執行委員長
 栗本 敦子 Facilitator's LABO <えふらぼ>
 桑野 里美 セクハラ・パワハラ防止コンサルタント、
ビジネス・パートナー・オフィス KUWANO 代表
 神戸 修 浄土真宗本願寺派僧侶
 桜井智恵子 川西市子どもの人権オンブズパーソン、大阪大谷大学教授
 出口真紀子 上智大学准教授
 寺木 伸明 (社) 部落解放・人権研究所理事長、
桃山学院大学国際教養学部特任教授
 土肥いつき セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク
 友永 健三 (社) 部落解放・人権研究所理事
 中北龍太郎 大阪弁護士会、狭山事件再審弁護団事務局長
 中山 久夫 クラシエホールディングス(株)
 西田 芳正 大阪府立大学大学院教授
 乗井 弥生 弁護士、女性共同法律事務所
 朴 一 大阪市立大学大学院教授
 花井 十伍 大阪 HIV 薬害訴訟原告団代表、
ネットワーク医療と人権 (MERS) 理事

浜本 裕子 ESD 関西
 早崎 直美 RINK (すべての外国人労働者とその家族の人権を
守る関西ネットワーク) 事務局長
 平川 宗信 中京大学法学部教授・大学院法科研究科長、
報道被害者支援ネットワーク東海代表
 平沢 安政 大阪大学大学院人間科学研究科教授
 福原 宏幸 大阪市立大学教授
 藤戸ひろ子 ミナミナの会代表
 松田 士朗 放送倫理・番組向上機構 (BPO) 元統括調査役、
関西マスコミ倫理懇談会顧問
 宮良 正吉 ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会
 村井 茂 (財) 大阪府人権協会理事長
 渡邊 実 「浪速部落の歴史」編纂委員会事務局長

(50音順 2013年2月現在)

公益財団法人 大阪人権博物館
 部落解放同盟大阪府連合会浪速支部
 NPO法人 ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺
 NPO法人 釜ヶ崎支援機構
 関西沖縄文庫
 福祉運動みどりの風

充実の講師陣

長年、人権確立のために各分野の第一線で活躍
されている方々を講師に迎え、最新の人権状況に
ついて学びます。
知識や理論だけでなく、被差別当事者の体験談な
ど、具体的な現実から学ぶことによって、人権問
題に対応する実力を養います。

日程

※随時、ご予約を受け付けております。ご希望の期はお早めにご連絡ください。(先着順)

第105期

2013年 5月28日(火) ▶ 2013年 12月3日(火)

受講申込締切日 2013年5月7日(火)

第106期

2013年 9月5日(木) ▶ 2014年 3月6日(木)

受講申込締切日 2013年7月26日(金)

- 実日数は、各期とも26日間です。
- 時間帯は、原則として午前9:30~午後5:30です。
- 定員 各期約45人

受講料

241,500円(消費税込) ※宿泊研修費、教材費を含みます。
開講日までにお振り込みください。

受講料振込先

りそな銀行 桜川支店
普通預金 口座番号0487613
口座名義 社団法人部落解放・人権研究所
理事長 寺木伸明 人権大学講座

受講料の減額措置について

個人で受講申し込みをされる場合などで、受講への熱意があり、かつ受講料全額の支払いが困難であると判断される場合は、申請の上、受講料の減額措置を受けることができます。なお、減額措置の対象に該当する方は、講義の日程以外の日にレジユメの印刷等のボランティアをしていただくことが条件となります。事務局にご相談ください。

※この他、厚生労働省の制度で、キャリア形成促進助成金があります。制度の詳細については、各都道府県の労働局にお問い合わせ下さい。

受講の手続き

- ①各期、申込締切日までに、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「作文」(右ページ参照)を添えて、下記の申込先までお送りください。
- ②受講申込書受付後、書類審査の上、受講決定通知・請求書等をお送りします。
(なお、必要に応じて面接を行うことがあります。)
- ③申込受付は、**先着順**とし、各期とも年間を通じて随時受け付けています。定員になり次第、受付を締め切ります。
- ④受講される方が確定していない段階でも、定員内で予約を受け付けています。

申込先・予約受付

(社)部落解放・人権研究所 啓発・販売部 啓発企画室 部落解放・人権大学講座事務局
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階 TEL 06-6581-8596 FAX 06-6581-8540
E-mail : kaidai@blhrri.org

主会場

AIAI おおさか
(HRCビル)

〒552-0001
大阪市港区波除 4-1-37
HRCビル

- JR大阪環状線「弁天町」駅北口より徒歩8分
- 地下鉄中央線「弁天町」駅④番出口より徒歩8分 北東へ約600m

※有料駐車場はありますが、混雑が予想されますのでなるべく公共の交通機関をお使い下さい。



交通案内





申込方法

本「**受講申込書**」に必要事項をご記入の上、**作文**（詳細下記）を添付して、申込締切日までに講座事務局へお送りください。 ※申込書はお手数ですがキリトリ線に沿って切ってお送り下さい。

受講申込
締切日

第**105期** 2013年**5月7日** 火

第**106期** 2013年**7月26日** 金

● 添付する作文について

本講座受講への意識付けのために、事前にご執筆いただくものです。
以下の3点について1,200字程度にまとめて、「受講申込書」と合わせて、お送りください（書式自由）。

- ・ 受講の動機や抱負
- ・ 現在の業務と人権の関わり
- ・ 部落問題や差別に関する経験や見聞きしたこと など

受講生の派遣にあたって

1 人選について

本講座は、部落問題をはじめとする人権問題の解決に取り組むリーダー養成を目的としています。
したがって、できるだけ以下のいずれかの条件を満たす方をご派遣いただくことをお勧めします。

1. 部落問題や人権問題に関して学習意欲のある方
2. 部落問題や人権問題に関わる具体的な業務や役割をもった方

2 修了の要件について

以下の三点を修了要件としますので、受講される方に、事前にお伝えください。
業務の都合等で要件を満たせない場合は、事務局にご相談ください。

1. **講座への8割以上の出席**（全日程の出席が原則です。やむを得ず欠席された場合は、講義録音による補講ができます。ただし、**自己啓発学習は補講が行えませんので必ずご出席ください。**）
2. **自己啓発学習の修了**（原則全7日間の出席と、レポートの提出が必要です。）
3. **自由課題研究レポートの提出**（講座期間中の指定する期日までに提出してください。）

派遣の目的 ※所属長が記入してください。

所属長名 _____

印

欠席について ※どうしても出席できない日時がある場合、事前にお知らせください。

日時 年 月 日 () : ~ :
理由

キリトリ線



部落解放・人権大学講座 受講申込書

名 前	性 別	年 齢
ふりがな -----		
※性別(自認)と年齢は、宿泊研修の部屋割り、班分けの際の参考にさせていただきます。		

連 絡 先

1. 所 属 ※部・課・係名までお書きください。

〒 ー

TEL

FAX

E-mail

2. 自 宅

講座運営中の緊急連絡と講座修了後の連絡のために使用します。必ずご本人の同意の上、ご記入ください。

〒 ー

TEL

FAX

E-mail

受講関係書類送付先

〒 ー ※ 受講決定通知、請求書などの送付先が **連絡先** と異なる場合(派遣担当部局など)は記入してください。

ご担当者名

TEL

FAX

希望する期 ※(第1希望)(第2希望)をご記入下さい。 第105期() / 第106期()

事務局使用欄

受付番号	受付日	受付者
	/	

※ ご記入いただきました個人情報、講座の運営・修了後の研修等の目的以外には使用いたしません。

※ 今回、ご記入いただきました内容に変更が生じた場合には、お手数ですが、

講座事務局 TEL:06(6581)8596 FAX:06(6581)8540 E-mail:kaidai@blhrri.org

までご連絡ください。

派遣研修の場合は、裏面もご記入ください。

主催・お問い合わせ

(社)部落解放・人権研究所
部落解放・人権大学講座事務局

TEL06(6581)8596 FAX 06(6581)8540
〒552-0001
大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル8階
E-mail kaidai@blhri.org URL http://blhri.org

協力

部落解放・人権大学講座運営委員会

部落解放・人権大学講座運営委員会は、大阪府、大阪市、堺市をはじめとした大阪府内の自治体や、人権教育関係組織、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議など、各界で人権問題に取り組む団体で構成され、本講座の企画・運営にご協力いただいております。

●これまで受講生を派遣された組織

■大阪府 ■大阪市 ■堺市 ■豊中市 ■池田市 ■箕面市 ■吹田市 ■高槻市 ■茨木市 ■摂津市 ■守口市 ■枚方市 ■寝屋川市 ■大東市 ■門真市 ■四條畷市 ■交野市 ■東大阪市 ■八尾市 ■松原市 ■柏原市 ■富田林市 ■河内長野市 ■羽曳野市 ■藤井寺市 ■大阪狭山市 ■泉大津市 ■和泉市 ■高石市 ■岸和田市 ■貝塚市 ■泉佐野市 ■泉南市 ■阪南市 ■能勢町 ■豊能町 ■島本町 ■太子町 ■河南町 ■千早赤阪村 ■忠岡町 ■熊取町 ■田尻町 ■岬町 ■福知山市 ■尼崎市 ■宝塚市 ■加古川市 ■市川町 ■奈良市 ■宇陀市 ■首爾村 ■御代田町 ■三重県 ■四日市市 ■鈴鹿市 ■松阪市 ■鳥羽市 ■名張市 ■伊賀市 ■桑名市 ■津市 ■野洲市 ■東近江市 ■草津市 ■和歌山市 ■米子市 ■大阪の部落史編纂委員会 ■反差別国際運動日本委員会 ■部落解放同盟愛媛県連合会 ■部落解放同盟大阪府連合会 ■部落解放同盟中央本部 ■部落解放同盟奈良県連合会 ■部落解放同盟兵庫県連合会 ■カトリック正義と平和協議会 ■カトリック中央協議会 ■カトリック東京大司教区部落問題委員会 ■浄土真宗本願寺派 ■真宗大谷派 ■西山浄土宗 ■世界救世教 ■曹洞宗 ■天理教 ■日本基督教団 ■日本聖公会 ■和宗総本山四天王寺 ■泉佐野市人権を守る会 ■大阪市人権教育研究協議会 ■大阪市人権啓発推進協議会 ■大阪市立高等学校人権教育研究会 ■大阪市立住吉人権文化センター ■大阪府私立学校人権教育研究会 ■大阪府人権教育研究協議会 ■大阪府人権福祉施設連絡協議会 ■大阪府信用農業協同組合連合会 ■大阪府専修学校各種学校連合会人権教育推進協議会 ■大阪府地域支援人権金融公社 ■大阪府福祉人権推進センター ■大阪府立学校人権教育研究会 ■岸和田市人権啓発推進協議会 ■堺市人権教育推進協議会 ■堺市農業協同組合 ■JAグループ大阪人権推進連絡会 ■人権啓発推進大阪協議会 ■全国共済農業共同組合連合会 ■中小企業連合会 ■日本労働組合総連合会大阪府連合会 ■全国農業協同組合連合会 ■東大阪市人権啓発協議会 ■枚方郵便局部落解放研究会 ■部落解放大阪府企業連合会 ■NPO法人暴力防止情報スペース・APIS ■(財)大阪府人権協会 ■(社)甲賀・湖南人権センター ■(財)高速道路交流推進財団 ■(財)新日本宗教団体連合会 ■(財)聖バルナバ病院 ■(社)大阪人権協会 ■(財)とよなか人権文化まちづくり協会 ■(社)日本水道協会 ■(財)反差別・人権研究所みえ ■(社)ひょうご部落解放・人権研究所 ■(社)部落解放・人権研究所 ■(社福)大阪市社会福祉協議会 ■(社福)大阪府社会福祉協議会 ■(社福)若江学院 ■(社)和歌山人権研究所 ■(学)エール学園 ■(学)大阪国学院 ■(学)大阪産業大学 ■(学)大阪歯科大学 ■(学)城南学園 ■(学)追手門学院大手前高等学校 ■(学)関西情報工学院専門学校 ■(学)関西大学 ■(学)享栄学園 ■(学)近畿大学 ■(学)四天王寺学園 ■(学)塚本学院 ■(医)寺西報恩会長吉総合病院 ■(医)南大阪病院 ■(医)渡辺第二病院 ■独立行政法人雇用・能力開発機構 ■(株)IH ■アイシン精機(株) ■アイワ(株) ■(株)あおぞら銀行 ■朝日生命保険(相) ■安治川鉄工(株) ■味の素(株) ■アステラス製薬(株) ■(株)アライドテック ■イオン(株) ■イオンディライト(株) ■イオンリテール(株) ■石塚硝子(株) ■イズミヤ(株) ■イトキン(株) ■稲畑産業(株) ■(株)IMAGICA ■宇部興産(株) ■エクソンモービル(有) ■SEIビジネススクレイツ(株) ■(株)SEIプロスタッフ ■NECシステムテクノロジー(株) ■NECセミコンダクターズ関西(株) ■NECライティング(株) ■NTN(株) ■(株)NTTドコモ中国 ■(株)NTTドコモ東海 ■(株)NTT西日本ー関西 ■NTT西日本ーみやこ ■(株)エヌ・ティ・ティネオメイト関西 ■(株)NTTビジネスアソシエ関西 ■近江鉄道(株) ■大磯産業(株) ■オーエール(株) ■大内新興化学工業(株) ■(株)大倉 ■大倉運輸産業(株) ■大阪ガス(株) ■大阪協栄信用組合 ■大阪石油化学(株) ■(株)大津コーポレーション ■オムロン(株) ■オリエンタル酵母工業(株) ■カネボウ化粧品 ■カネボウ化粧品販売(株) ■カネヨウ(株) ■(株)関西アーバン銀行 ■関西国際空港(株) ■関西ペイント(株) ■関西電力(株) ■菊正宗酒造(株) ■KISCO(株) ■キッコーマン食品(株) ■共栄火災海上保険(相) ■キリンビールマーケティング(株) ■(株)近畿大阪銀行 ■近畿工業(株) ■近畿日本鉄道(株) ■(株)近鉄百貨店 ■(株)きんでん ■(株)クボタ ■クラシエホールディングス(株) ■クラボウ(株) ■(株)クラヤ三星堂 ■栗田工業(株) ■栗本商事(株) ■(株)栗本鐵工所 ■グンゼ(株) ■(株)群馬銀行 ■(株)ケイ・オプティコム ■京阪電気鉄道(株) ■興和(株) ■コカ・コーラウエスト(株) ■国際警備保障(株) ■コスモ警備保障(株) ■コスモ建物管理(株) ■小林製薬(株) ■(株)ザイマックスビルマネジメント ■佐藤工業(株) ■(株)澤田商工 ■山九(株) ■産業振興(株) ■サンスター(株) ■参天製薬(株) ■サントリーホールディングス(株) ■三洋電機(株) ■(株)ジェイアール西日本交通サービス ■(株)ジェイアール西日本ホテル開発 ■JFEスチール(株) ■JFE継手(株) ■(株)ジェイテクト ■塩野義製薬(株) ■(株)滋賀銀行 ■(株)資生堂 ■資生堂販売(株) ■清水建設(株) ■ZIPANG(株) ■シャープ(株) ■シャープマニュファクチャリングシステム(株) ■蛇の目ミシン工業(株) ■(株)ジョイックス ■(株)商工組合中央金庫 ■(株)商船三井 ■昭和シェル石油(株) ■信越化学工業(株) ■新関西エアポートサービス(株) ■新協和産業(株) ■新星和不動産(株) ■新内外綿(株) ■新日本石油(株) ■大阪国際石油精製(株) ■住電電業(株) ■住金機工(株) ■住友金属工業(株) ■住友金属物流(株) ■住友商事(株) ■住友信託銀行(株) ■住友精密工業(株) ■住友生命保険(相) ■住友電気工業(株) ■住友電工ハードメタル(株) ■住友電設(株) ■(株)清文社 ■積水ハウス(株) ■摂津水都信用金庫 ■(株)銭高組 ■全日本空輸(株) ■双日(株) ■象印マホービン(株) ■(株)損害保険ジャパン ■(株)ダイエー ■ダイキン工業(株) ■(株)第三銀行 ■大成建設(株) ■大同工業(株) ■大同生命保険(株) ■大都美装(株) ■ダイハツ工業(株) ■太平洋セメント(株) ■(株)大和証券グループ本社 ■大和ハウス工業(株) ■(株)竹中工務店 ■田辺総合サービス(株) ■田辺三菱製薬(株) ■(株)チトセ ■(株)ツバキエマソン ■テルウェル西日本(株) ■テレビ大阪(株) ■(株)デンソー ■(株)電通 ■東海カーボン(株) ■東海染工(株) ■東海旅客鉄道(株) ■東急リパブル(株) ■東京海上日動火災保険(株) ■東洋紡インテリア(株) ■東レ(株) ■ドコモサービス関西(株) ■トヨタ自動車(株) ■(株)豊田自動織機 ■トヨタ車体(株) ■西日本高速道路(株) ■(株)西日本シティ銀行 ■西日本電信電話(株) ■西日本旅客鉄道(株) ■(株)日建設計 ■日産大阪販売(株) ■日新製糖(株) ■(株)日清製粉グループ本社 ■あいおいニッセイ同和損害保険(株) ■ニッセイ・ビジネス・サービス(株) ■日鐵住金溶接工業(株) ■日東カストディアル・サービス(株) ■日東電工(株) ■日東紡績(株) ■(株)日住サービス ■(株)日本アクセス ■日本インシュアランスサービス(株) ■日本興亜損害保険(株) ■日本GE(株) ■(株)日本システムディベロップメント ■日本生命保険(相) ■日本タクシー(株) ■日本たばこ産業(株) ■日の出証券(株) ■日本電気硝子(株) ■日本山村硝子(株) ■日本輸送機(株) ■(株)日本旅行 ■(株)ニュージャック ■(株)ネクステージ関西 ■(株)ノエビア ■(株)ノザワ ■(株)ノリタケカンパニーリミテド ■(株)間組 ■パナソニックコンシューマー マーケティング(株) ■阪急電鉄(株) ■阪神高速道路(株) ■阪神電気鉄道(株) ■(株)ビケンテクノ ■(株)日立製作所 ■(株)広島銀行 ■(株)びわこ銀行 ■(株)福井銀行 ■(株)福井製作所 ■富士火災海上保険(株) ■富士生命保険(株) ■(株)フジソク ■(株)不動テトラ ■(株)平和堂 ■ペガサスミシン製造(株) ■ぼぶり新聞社 ■(株)マイカル ■マスマニチュアル生命保険株式会社 ■(株)松井製作所 ■松尾電機(株) ■パナソニック(株) ■パナソニック電工(株) ■パナソニックエレクトロニクスデバイス(株) ■マツダ(株) ■マルハニチロ水産(株) ■(株)マンダム ■三菱自動車工業(株) ■みずほインベスターズ証券(株) ■みずほ証券(株) ■みずほ信託銀行(株) ■三井住友海上火災保険(株) ■(株)三井住友銀行 ■三井造船(株) ■三菱地所(株) ■三菱製紙販売(株) ■三菱電機(株) ■三菱マテリアル(株) ■三菱UFJ信託銀行(株) ■光村図書出版 ■宮崎機械システム(株) ■明治安田生命保険(相) ■持田製薬(株) ■森下仁丹(株) ■(株)モリタホールディングス ■(株)山善 ■山文商事(株) ■ヤンマー(株) ■ユニチカ(株) ■読売新聞社 ■ラサ商事(株) ■理研計器(株) ■(株)リそな銀行 ■ルネサス関西セミコンダクタ(株) ■(株)レナウン

(順不同/2013年2月現在)

● 2013年度 部落解放・人権大学講座 プログラム

● 場合により日程・テーマは変更することがあります。

回	第105期	第106期	9:30~17:30		
1	5/28(火)	9/ 5(木)	開講式 開講式(9:45~)	オリエンテーション	14:00 身近な差別・人権問題を考えるワークショップ
			9:30~12:30	13:30~17:15	~17:30
2	5/30(木)	9/ 6(金)	多様性教育I 出会いのワークショップ	差別をなくする社会システムのあり方	事務連絡
3	6/ 4(火)	9/12(木)	企業と人権	同和教育と人権教育	事務連絡
4	6/12(水)	9/19(木)	部落問題入門	部落の歴史	事務連絡
5	6/18(火)	9/26(木)	大阪近郊の被差別部落フィールドワーク		
			9:30~12:30	13:30~16:30	16:40~17:30
6	6/20(木)	10/ 4(金)	多様性教育II 自己啓発学習に向けたワークショップ	人権と福祉のまちづくり	自己啓発学習説明 事務連絡
7	6/27(木)	10/10(木)	自己啓発学習セッションI		宿泊研修
8	6/28(金)	10/11(金)	自己啓発学習セッションI		
9	7/ 9(火)	10/17(木)	セッションII		
10	7/17(水)	10/24(木)	セッションII		
11	7/23(火)	10/31(木)	セッションIII		
12	7/30(火)	11/14(木)	セッションIV		
13	8/ 6(火)	11/21(木)	最終日(冊子完成・今後に向けて)		
			9:30~12:30	13:30~17:15	~17:30
14	8/27(火)	11/28(木)	同和・人権行政の歩みと課題	人権の概念と歴史	事務連絡
			9:30~12:00	13:00~17:30	
15	9/ 3(火)	12/ 5(木)	近代化と差別	大阪人権博物館の見学 と 浪速地域現地研修	
			9:30~12:30	13:30~16:30	16:40~17:30
16	9/10(火)	12/12(木)	女性の人権	人権相談のあり方~セクハラ・パワハラを視野に~	グループふりかえり 事務連絡
17	9/18(水)	12/19(木)	人権の視点からみた労働問題	野宿労働者の人権/沖縄出身者の歴史と人権(フィールドワーク)	
18	9/24(火)	1/ 7(火)	障害者の人権	セクシュアルマイノリティの人権	グループふりかえり 事務連絡
19	10/ 1(火)	1/16(木)	在日韓国・朝鮮人の人権	105期:アイヌの文化から学ぶ 106期:子どもの権利【聴講可能】	グループふりかえり 事務連絡
			9:30~12:00	13:00~15:30	15:45~17:30
20	10/ 8(火)	1/23(木)	日本で暮らす外国人の人権	司法と人権~狭山事件を踏まえて~	自由課題研究レポート(質問タイム)
21	10/18(金)	1/30(木)	報道と人権	105期:エイズ患者・HIV感染者の人権【聴講可能】 106期:ハンセン病問題と人権【聴講可能】	グループふりかえり 事務連絡
22	10/29(火)	2/13(木)	職場における人権研修	成人教育論	自習時間
			9:30~14:00	14:15~17:15	~17:30
23	11/11(月)	2/20(木)	多様性教育ワークショップIII(今後にむけて)	105期:持続可能な開発と人権【聴講可能】 106期:宗教者が語る人権【聴講可能】	事務連絡
24	11/19(火)	2/21(金)	大阪近郊の被差別部落フィールドワーク		
25	11/26(火)	2/27(木)	自由課題研究レポート発表		
26	12/ 3(火)	3/ 6(木)	21世紀における人権の課題	記念講演「これからの部落解放運動」	修了の集い

※【聴講可能】の講座について・・・当講座の修了生を対象に聴講を可能とします(例:105期修了生が106期講座に参加)。事前申込制で有料となります。

自己啓発学習 自由課題研究レポート フィールドワーク

本講座では、学習者の「主体的な学び」を促すため、以下の2つのプログラムを設けています。

自己啓発学習

「自己啓発学習」は、受講生一人ひとりの中にある部落問題への認識や、差別・被差別体験を見つめ直し、部落問題や人権問題を自らの問題として捉え直すことを目的としています。経験豊かな助言者と共に、少人数のグループでの話し合いを行います。

自由課題研究レポート

受講期間の後半には、部落問題・人権問題に関するテーマを自由に設定していただき、レポートを執筆いただきます。専門的な知識をより深く、人権研修のリーダーとして自らの考えを他者に的確に伝える発信力を身につけます。